

世の中で人を妬む心は
目に見えない鬼よりも
恐ろしいことである

『世中百首』

荒木田守武
室町末期の伊勢皇大神宮の禰
宜。神職の傍ら俳諧師、連歌師
としても知られる。宗祇、宗長
らに連歌を学び、『新撰菟玖波
集』に入集。山崎宗鑑と共に
連歌から俳諧が独立する基礎
を築いた。『世中百首』は平易
な教訓和歌集で伊勢論語と称
えられた。

神道知識への誘ひ「えびす様」

えびす様は七福神の一神として広く
民間に信仰されており、釣竿を持ち
鯛を抱えた福々しいお姿の神像で親
しまれています。夷、戎、恵比寿（須）
などと表記され、複数の由来があり
ます。漁村では豊漁の神として信仰
され、そこからまた海運守護の神と
なりました。海運は商人と大きな関
わりがあるため商売繁盛の神として
商人の信仰も集めました。さらに農
村では農業神としての性格もあるな
ど広く信仰されております。
「十日戎」で有名な兵庫県の西宮神社
は、えびす全国三千余社総本社とし
て崇敬を集めています。



世中に 人をそねむは
目に見えぬ 鬼よりもたゞ
おそろしきかな

荒木田 守武